

あいのかぜ

Vol. **53**
2026年

特集①

あの人の

“働く理由”を

聞いてみました

特集② これからの“みんなの防災”

男女共同参画とやま 市民フェスティバル2025

男女共同参画社会づくり作文コンクール

あいのかぜとは？

男女共同参画社会の実現に向けて、市民一人ひとりが男女共同参画に関する正しい理解と認識を深めることを目的に、公募市民3人からなる編集委員によって企画・編集された情報交流誌です。



Interview 03

Profile ほんだりょうた
本田 稜太 さん

介護福祉士

富山市出身、富山福祉短期大学 卒業。

2025年4月、特定医療法人財団五省会に入社。
介護老人保健施設みどり苑(秋ヶ島)で入浴・
食事・排泄介助など、利用者の生活全般を
サポート。



“ありがとう”から始まる、僕の仕事 ～感謝の中で育てられていく自分～

誰かのために働くことが、自分を育ててくれる。

人が人に感謝する関係の中で働くことの喜びを本田さんに伺いました。

働く理由

介護の仕事を選んだきっかけは何ですか？

私の兄が、障害がある方の介護士をしています。兄から勧められたことも一つですが、日頃から仕事の話や聞くうちに、この職業を身近に感じるようになりました。また、私自身「おばあちゃん子」で、小さい頃から高齢の方と接する機会が多かったこともあり、自然と介護の仕事に興味を持ちました。

入社1年目の現在、どのように働いていますか？

プリセプター制度※1があり、男性の先輩がマンツーマンで丁寧に指導してくれます。年が近いこともあって、何でも相談しやすく、安心して働ける環境です。休日は、法人内のフットサルチームで体を動かしたり、友だちと過ごしたりしてリフレッシュしています。

「みどり苑」の良さを教えてください。

介護DX※2がすすんでいることです。部屋の様子を24時間見守るAIを利用したシステムや、音声入力での介護記録ができるアプリなどを使って、効率的にケアすることができます。その分、利用者さんと、ゆっくり向き合える時間が増えました。



また、みどり苑は男性の介護士が多く、育休を取得した方もいて、福利厚生がしっかりしています。

※1プリセプター制度・・・一人の先輩が、一人の新人に対し、一定期間マンツーマンで指導・教育・精神的サポートを行う新人育成制度

※2介護DX(デジタルトランスフォーメーション)・・・最新の介護テクノロジーを活用し、現場の業務や働き方、サービスを改善すること。職員の負担を減らし、質の高いケアの提供を目指す。

どんな時にやりがいを感じますか？

大変だったことは何ですか？

利用者さんから「ありがとう」「助かったよ」「レクリエーションが楽しかったよ」などと笑顔で声をかけられると本当にうれしいし、私も「今日も元気でありがとう」というあたたかい気持ちになるんです。そう感じる瞬間が、この仕事の魅力です。

例えば、ものをつくる仕事も素晴らしいけれど、つくった人に直接「ありがとう」と伝える機会はなかなかないと思います。介護の仕事は、直接、感謝の言葉をもらえ、そのたびに「自分が誰かの役に立てている」と感じられて、うれしくなるんです。

大変だったのは、最初にお名前と顔、一人一人の体の具合を覚えること。早く覚えて、利用者さんと関わりたいという思いで、頑張りました。

これからの目標を教えてください。

早く先輩ができたらいいな！自分を指導してくれた先輩のように、頼られる存在になることが目標です。今後は、夜勤にも挑戦して、さらに成長したいです。また、介護という仕事の魅力をもっと発信して、一緒に働く仲間を増やしていきたいと思っています。

介護士を目指す人へメッセージをお願いします。

介護というとネガティブなイメージを持たれることもありますが、実際は全く違います。大変なこともあります。性別に関係なく活躍でき、人生の先輩から学ぶことも多い仕事です。人と関わることが好きな人には、きっと天職になると思います。